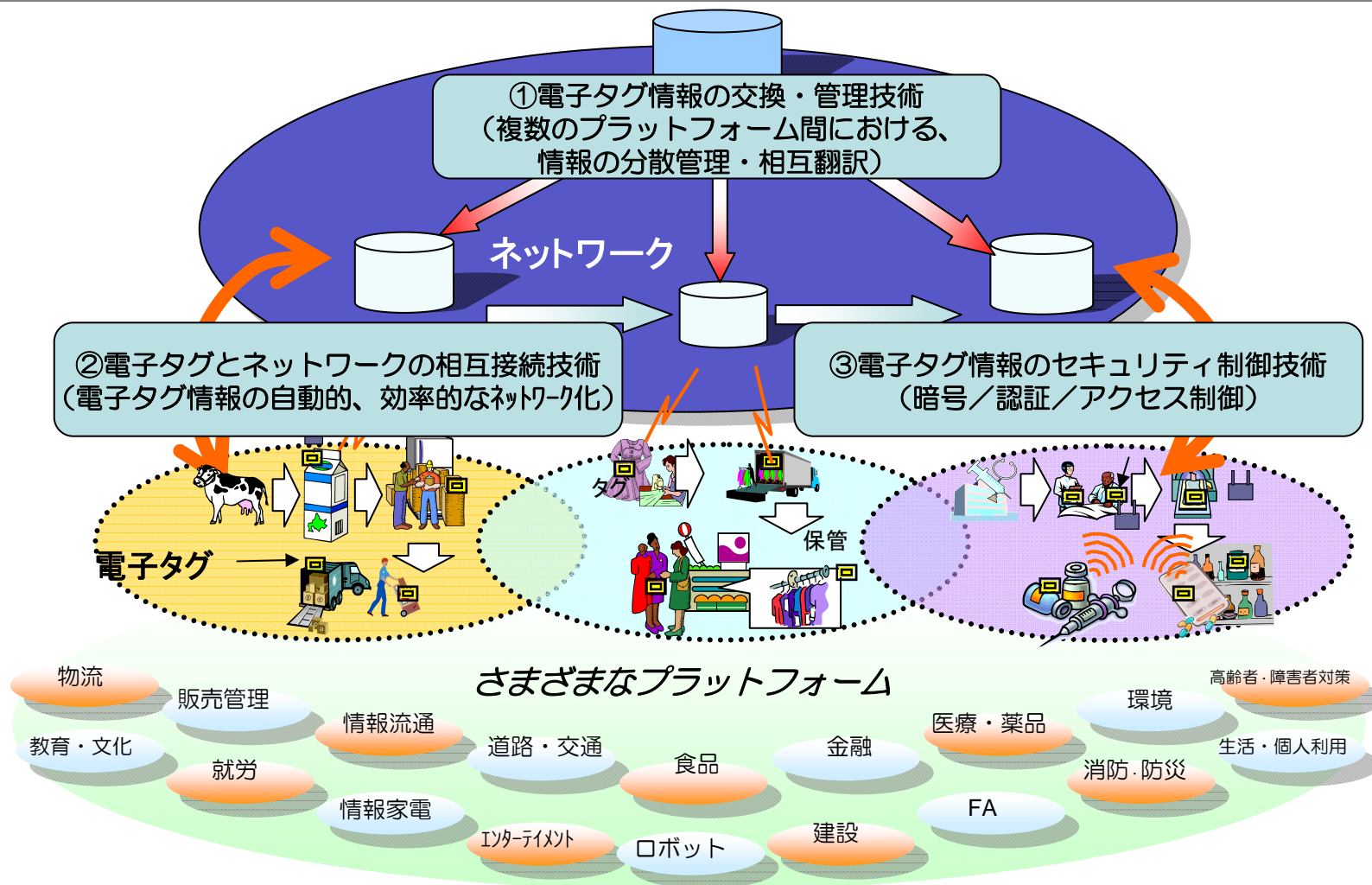


電子タグがネットワークと結びつき、幅広く利活用される便利で安心なユビキタスネットワーク社会の実現に向け、現在、同一企業内など閉じられた環境で利用される電子タグを、企業・業界の垣根を越えて、シームレスに使用可能とする要素技術を確立。

【実施期間：平成16年度～平成19年度】



物流分野(食品流通)における技術の活用イメージ

食品が生産・加工から物流を通じて消費者に至る過程において、複数プラットフォームをまたいだトレーサビリティを実現することで、一体的・効率的な物流管理を実現すると共に、食の安心・安全にも寄与。

畜産物に電子タグを貼付し、履歴情報管理

枝肉に電子タグを取り付け、履歴情報管理

部分肉ごとの情報もタグで管理

